

## 北九州市沖洋上風力見学ツアーの報告

日本風力発電協会の系統部会において、北九州市沖に立つ着床式洋上風力発電の見学ツアーをおこないました。

平成 25 年 11 月 5 日、46 名のツアー参加者は 11 : 20 に北九州空港からバス 2 台に分乗し、途中 J R 折尾と J R 小倉駅で電車をピックアップしてから若松港に向かいました。若松港からは北九州市の海事広報艇「みらい」で洋上風車と風況観測塔の近くまで行きじっくりと見学することができました。

この船は北九州市が運航している広報艇ということで、無償で利用させて頂くことが出来ました。更にマリンメイトという美しい女性のガイドに湾内の説明をしていただけるということで、男ばかりのツアー参加者は大喜びでした。なお、この船は乗客の定員が 30 名ということで、我々のツアーは 2 組に分かれての乗船となりました。



当日は風も弱く、波はほとんどなく快適に船は進みましたが、そのかわり私の乗船した B 班の時は、風車は止まっていました。(もう一つの A 班の時は回っていたとのこと) 風車の説明は事業者である電源開発様とメーカーである日本製鋼所様のご担当者様にお願いしましたので、詳しい説明を聞くことが出来ました。基礎はハイブリッド重力式ということで海面から上に出た黄色いジャケットの部分が見えておりました。ハブの高さは海面から 80 メートルもあり近くで見上げると相当の迫力でした。





その後海底ケーブルを陸上に引き上げるための洋上鉄塔と陸地側にある鉄塔及び九州電力の系統線に接続するための開閉所を見学し、続いて陸上にある電源開発様の新しい 2.7MWの巨大な風車を見学させて頂きました。

海岸に立つこの風車は巨大な灯台のようでもありおそらく遠くの海上からも良く見えることでしょう。またこの日は好天だったため、逆にここからも洋上風車と観測塔が良く見えました。洋上と陸上の大きな風車を見て、これからの風力発電の発展を確信しながら帰路へとつきました。

帰りはそのままJR駅を經由して北九州空港へとんぼ返りという、日帰り強硬スケジュールでしたが、同行していただいた電源開発様と日本製鋼所様のご協力により、また電源開発様の現地事務所の稲葉様、佐藤様の詳しいご説明により大変充実した見学会となりました。改めて御礼申し上げます。



(事務局：花岡)